



御待夜祭 9月1日・2日



活気に満ちた2日間

凶作と重税に苦しむ農民を救うため尽力した義民・佐倉宗吾(木内惣五郎)の命日にちなんで、宗吾霊堂で「御待夜祭」が行われました。宗吾霊堂周辺では町内の若者が屋台を威勢よく曳き廻し、踊りも披露しました。また、境内にはたくさんの模擬店が立ち並び、ステージでは歌や和楽器の演奏が行われるなど、多くの人でにぎわいました。



①威勢よく踊る②宗吾様をしのんで③一生懸命引っ張る④模擬店が立ち並ぶ境内

歌舞伎講座衣装編 9月1日



貴重な話に興味津々

歌舞伎の衣装について知ってもらおうと「歌舞伎講座衣装編」がスカイタウンギャラリーで行われました。この講座では松竹衣裳株式会社の講師が、歌舞伎の衣装が作られる工程や、模様など細部のこだわりについて解説。また、実際に着付けを披露しました。参加者は普段聴くことができない現場ならではの話に、熱心に耳を傾けていました。



実際に着付けを披露

リサイクル教室 9月4日



着物がおしゃれな作務衣に変身

不用になった着物を使って作務衣を作る「リサイクル教室」がリサイクルプラザで行われました。全2回中、初回のこの日は型紙と上着を製作。参加者は、持ってきた花柄やチェック柄の着物を型紙に合わせて裁断し、ミシンで縫い合わせました。襟や袖を付けるところで苦戦する姿が見られましたが、講師の指導を受けながらオリジナルの作務衣を仕立てました。



講師のアドバイスを聞きながら

AR

写真だけでは伝えきれない魅力を動画で!!

「まちのできごと」に掲載されている写真から、AR(拡張現実)を利用してスマートフォンやタブレットなどで、動画を見ることができます。右にある二次元バーコードからCOCOAR2アプリをダウンロード。アプリを起動してARマークが付いたコーナー全体にかざすと動画が見られます。

COCOAR2



アプリアイコン



iOS・Android対応

寄席さんりづか亭 9月8日



軽妙な語り口や仕草に笑い

落語を身近に楽しんでもらおうと「寄席さんりづか亭」が三里塚コミュニティセンターで開催されました。始めに、社会人落語家として活動する3人が、落語の歴史や小道具の使い方などを紹介。また扇子を箸に見立て、そばをすする仕草などを子どもたちに教えました。その後は「青菜」「粗忽の釘」「佐野山」とそれぞれが得意とするネタを披露し、観客の笑いを誘っていました。



②



③

①こつを教わって「オチ」の台詞に挑戦②お茶子として札めくりをお手伝い③おもしろさに思わず笑顔

シェイクアウト訓練 9月3日

命を守る3つの安全行動

地震発生時に、今いる場所で身の安全を確保するための「シェイクアウト訓練」が市内で行われ、約1万8,000人が参加しました。この訓練は「まず低く」「頭を守る」「動かない」の3つの安全行動を約1分間実践するというもの。中台保育園では、午前10時30分に防災行政無線で訓練地震情報が放送されると、先生の合図とともに園児が一斉に机の下に潜り、いつ来てもおかしくない災害に備えて訓練しました。



机の下で「動かない」を実践

もりんぴあこうづ来館100万人達成記念式典 9月9日



感謝を込めて盛大に祝う

平成25年7月に開館し、来館者が100万人を達成した、もりんぴあこうづで記念式典が行われました。式典では、来館者の代表となった女の子と関係者でくす玉を割り達成を祝いました。式典後には、ピアノと電子オルガンによるデュオコンサートを開催。ディズニーメドレーや、開館当時に流行した楽曲などが演奏され、多くの来館者が聴き入っていました。



100万人を記念してくす玉割り